vol.24（2026.9.1）

YUKUTE
NAGATO TOURISM
CONVENTION ASSOCIATION

Nanavi Paper

長門市観光コンベンション協会報「ななびペーパー」

2026 年度定時総会開催

長門市観光コンベンション協会の協会報「Nanavi Paper」
今号では、2026 年度定時総会の議事報告と、6 地域代表が登壇したパネルディスカッション「地域の個性を観光価値へ」の内容を紹介します。
また、協会が進める持続可能な観光の取り組み、伊上キャンプ場から元乃隅神社までを結ぶ「元乃隅サイクルプロジェクト」についても取り上げ、長門市観光の現在と今後の方向性をお伝えします。

会長・副市長あいさつ

会長あいさつ

末永明典 会長

今年度は、いよいよ山口県デスティネーションキャンペーン（ＤＣ）が本格的に始まります。

また青海島の国指定名勝・天然記念物 100 周年を迎えるなど、長門市観光にとって大きな節目の年です。

地域の皆さんとともに、食・物産・宿泊・体験・情報発信が連携した「長門らしい観光」を推進し、持続可能な観光地域づくりと地域のさらなる発展に取り組んでまいります。

Point

DC 本番への期待

10 ～ 12 月の開催に向け、長門の魅力を全国へ発信

観光ブランド強化

食・物産・宿泊が連携した長門観光ブランドの確立で、選ばれる観光地へ

地域が主役の観光づくり

地域の魅力を知る皆さんとともに持続可能な観光を推進

副市長あいさつ

大谷恒雄 副市長
（江原達也市長代理）

会員の皆さまには、地域資源を活かした観光振興にご尽力賜り、深く感謝申し上げます。

昨年度は、観光客数・宿泊客数ともに増加し、外国人宿泊者数も伸び、観光需要の力強い回復がみられます。

今年度は第４次長門市観光基本計画の策定を予定しております。多くの関係者のご意見をいただき、魅力ある地域づくりを進めるための指針としてまいります。

Point

観光客・宿泊客の増加

観光客数 215.7 万人
（前年比＋1.9%）
宿泊者数 48.8 万人
（前年比＋5.4%）

第４次長門市観光基本計画の策定

基本計画を策定し、長門の観光の将来像を描いていきます

定時総会で承認された主な内容

1 Ｒ７年度事業・収支報告

【主な成果】

〇地域活性化起業人業務遂行事業
各種データ収集・分析

〇情報発信事業
デジタル観光戦略推進事業
地域活性化起業人業務遂行事業
PR 会議の立ち上げ

〇ながと国際観光推進事業
多言語サイト刷新

〇ながとの食や土産物の新たな魅力創出
グルメマップ「せっかく長門に来たんなら〇〇食べさんちゃ」作成

〇情報発信事業
プレミアム宿泊券情報発信

【収支決算】
事業活動収入１億5,410万円
事業活動支出１億4,993万円
差額 417 万円

2 理事の補選

センザキッチン駅長交代に伴い、新たな理事を選任しました。

退 任
村田大助 氏

今年3月末をもってセンザキッチン駅長を退任しました。

７年間理事をつとめてまいりましたが、異業種の理事が知識を持ち寄り、観光発展に尽力してきたことへの敬意を表します。協会のさらなる発展をお祈りします。

就 任
清水美憂 氏

センザキッチンの現場で長門の食材や来訪者の笑顔に触れてきた経験から、長門にはまだ知られていない魅力が多くあると思います。

新しい視点を取り入れながら、理事として力になれるよう努めてまいります。

3 Ｒ８年度事業・収支計画

KGI(最終成果)/KPI(最終成果達成のための途中経過の指標）を設定し、事業運営を行います。

【拡充事業】

〇情報発信事業
戦略的情報発信のため予算拡充（約 3,000 万円増）

【新規事業】

〇ながとの食や土産物の新たな魅力創出
ふぐ旅ながと (ふぐ＋口福白子酒＋温泉) ブランディング

〇観光事業者への総合的支援
団体旅行商品造成支援

【収支予算】
事業活動収入 1 億 8,800 万円
事業活動支出 1 億 8,702 万円
繰越予定額 1,762 万円

パネルディスカッション

地域の個性を観光価値へ

長門市を６つのエリアに分け、それぞれの地域で活動する代表者が登壇。
昨年度取り組んだプロモーション事業の成果と、これからの展望を語りました。
地域の魅力を一番よく知る人たちが、自ら発信する。
その新しい流れが、長門市の観光を力強く前へ進めています。

ファシリテーター
武内 源太
観光 CV 協会専務理事

油谷・日置エリア	長門湯本エリア	俵山エリア	三隅エリア	深川エリア	通・仙崎エリア
岡藤 明史	伊藤 就一	藤永 義彦	増野 恵子	小崎 真一	馬來 政成
油谷湾温泉 ホテル楊貴館	長門湯本温泉 まち株式会社	（一社）俵山 みらいデザイン	東方の家	湊地区 まちづくり協議会	bioloop

❶油谷・日置エリア

インフルエンサーと連携し、
絶景と温泉の魅力を全国へ

▶縦型動画で魅力を発信
Instagram
100万再生
TikTok
110万再生
▶宿泊予約・売上が
20～30%増加

❷長門湯本エリア

冬の閑散期の「音信川うたあかり」
を軸に、宿泊誘客を強化

▶LP・SNS広告・
フォトコンテスト・
紙媒体で発信
▶SNS広告の
インプレッション
265万
▶来場者増加

❸俵山エリア

雑誌・WEB・SNSを組み合わせ、
温泉の魅力を丁寧に発信

▶雑誌記事広告＋
SNS広告の併用
▶まちごと旅館の
予約件数が増加
▶じゃらんの予約状況
改善

❹三隅エリア

紙とデジタルをつなぐ
三隅の魅力マップ作成

▶紙媒体を市内各地に配布
▶デジタル版はSNSで告知
▶紙→QR→LPへ誘導
▶シニア層にも使いやすく
好評

❺深川エリア

長門市駅周辺イベントを
SNSで広く発信

▶人気タレント
兼頭のぞみさん起用
で認知度アップ
▶3つのイベントに
約5,000人来場
▶家族連れの来場増加

❻通・仙崎エリア

夏祭りと文化施設を結び、
周遊を促すモデルコースを発信

▶夏祭り＋文化施設の
周遊モデルをLPで
紹介
▶SNS広告も展開
▶イベント来場者数・
施設利用者数増加

○自地域の現状

〈強み〉
・自然や文化、温泉など、地域ごとに尖った魅力”がある
・地域住民の熱量と、地域を良くしたいという主体性
〈課題〉
・データ共有・効果検証の文化がまだ弱い
・地域間の導線が弱く、周遊が生まれにくい

○自地域のブランディング

・“地域の物語”を軸にしたブランディングが必要
・「他地域と同じことをしない」「自分たちにしかできない価値を磨く」
・地域の個性を“比較ではなく補完”として位置づける
・地域住民の参加と誇りが地域ブランドを強くする

○地域の個性が長門市観光価値にどう寄与すべきか？

・長門市は「多様性こそブランド」
・地域の個性が“周遊を生む構造”をつくるべき
・各地域が滞在時間を伸ばすことで、宿泊・消費が市全体に波及する
・地域主導の企画が長門全体の価値を底上げする

“みんなちがって　みんないい”　地域の魅力は“点”でなく、長門市全体のブランドを形づくる“面”に

特　集　持続可能な観光って何？

地域の自然・文化・暮らしを守りながら
観光を地域の未来へつなげます

サイクルプロジェクトで目指す「持続可能な観光」

観光コンベンション協会では、持続可能な観光の取り組みの一つとして「元乃隅サイクルプロジェクト」を推進します。

油谷伊上オートキャンプ場を拠点に、元乃隅神社までを自転車で巡ることで、観光地周辺の交通渋滞の緩和や観光公害（オーバーツーリズム）の回避につなげます。

また、自動車から自転車への利用転換は、二酸化炭素（CO_2）の排出削減にもつながり、環境にやさしい脱炭素型観光の実現に貢献します。

ゆっくりと地域の景色や自然、暮らしを感じながら巡るサイクルツーリズムは、観光客の満足度向上だけでなく、地域の魅力を再発見し、未来へ受け継ぐ持続可能な地域づくりにもつながる取り組みです。

●コース案

©2026 Google / 地図データ：©2026 Google

▲ながと体験予約サイト ナガトリップ
特集／青海島サイクリングコース

最新情報は「ななび」から
https://nanavi.jp

ながと観光なび ななび

会報紙　Nanavi Paper vol.23　　発行日　2026 年 9 月 1 日
発　行　一般社団法人長門市観光コンベンション協会
〒 759-4106　長門市仙崎 4297-1
道の駅センザキッチン 観光案内所「YUKUTE」内
TEL 0837-27-0074　FAX 0837-27-0079　E-mail info@nanavi.jp